

東京都台東区立少年自然の家における指定管理者の指定の経緯

1 経過

令和3年 8月26日	第1回非公募選定審査会 (オンラインによる対象施設調査、審査基準の決定)
令和3年 9月21日	第2回非公募選定審査会 (オンラインによる書類審査及び選定)
令和3年11月 4日	指定管理者候補者の選定
令和3年12月20日	第4回区議会定例会において指定の議決
令和4年 1月 4日	指定管理者として指定

2 選定方法

外部有識者と区職員による指定管理者非公募選定審査会を開催し、申請者から提出された事業計画書等について審査をした。区は、審査会の審査結果を参考に区議会の議決を経て指定管理者を指定した。

3 非公募選定審査会構成員

	氏名	役職等
委員長	平沢 茂	文教大学名誉教授(元教育学部教授)
委員	越山 陽子	中小企業診断士
委員	菅野 宏潔	台東区スポーツ推進委員協議会 副会長
委員	小西 祐一	台東区立根岸小学校 校長
委員	瀬川 眞也	台東区立浅草中学校 校長
委員	河野 友和	企画財政部経営改革担当課長(8月31日まで)
委員	越智 浩史	企画財政部企画課長(9月1日から)

4 審査基準

基本項目	細目(審査内容)	審査の視点
①団体の実績・安定性	団体の理念、経営方針等	応募団体が、区の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営に対する理念や基本方針を持っているか。
	類似施設の管理運営実績	類似施設の管理運営の実績を有しており、成果を上げているか。
	物的・人的能力	事業計画書に記載された業務を遂行するために必要な人的・物的基盤を有しており、または確保できる見込みがあるか。 施設の管理運営に関する専門的知識や資格、経験を

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
		十分に有し、かつ、熱意や意欲を持っているか。
	団体の財務状況	安定的な運営が可能な財政基盤があるか。
②区の求める管理水準の確保	施設の設置目的に合致した管理運営	施設の管理運営に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
		地元自治会活動への参加や地域との連携に取組み、円滑な事業展開が図られているか。
	施設の維持管理計画	具体的な維持管理計画となっているか。安全、快適等が念頭に置かれているか。
	区民の平等利用の確保	公の施設としての役割を踏まえ、区民の平等利用に留意されているか。
	人員の配置計画	施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
		施設の管理運営にあたる人員が合理的に配置されているか。
		有資格者などの配置は適切か。
		労働法令の遵守や、雇用・労働条件への適切な配慮がなされているか。
③サービス向上への取り組み	利用者に対するサービスの向上	利用者の要望・意見・苦情等を把握し、改善に結びつける方策がとられているか。
		利用者のための有益な情報提供を適時かつ十分に行えるよう考えられているか。
		定期的に評価し、改善に結びつける方策がとられているか。
	管理・運営についての提案	施設の現状を正しく認識し、今後の施設のあり方について具体的かつ適切な提案があるか。
		施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
		施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
	自主事業	自主事業の内容が、施設の設置目的に合致しており、かつ利用者にとって魅力的なものとなっているか。
		現実的な収入見込みであるか。
		支出の抑制が図られているか。
	④運営効率化への取り組み	管理経費の効率化

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
		管理運営に支障が生じない、現実的な経費見積もりがなされているか。
		清掃、警備、設備の保守点検などの業務を再委託する場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されているか。
		効率的な管理運営のための創意工夫が見られるか。
	収入の確保	利用料金制を導入する施設については、利用料金の設定が適切であるか。
		収入を増加させるための実施可能な提案があるか。
⑤危機管理・安全確保の取組み	緊急時対策・防災対策・感染症対策	緊急時の対応を適切に行うための対策が講じられているか。
	個人情報の管理	個人情報の管理体制は適切か。
⑥職員育成の取組み	職員の研修計画	職員の専門的知識・技能を向上させる職員研修計画となっているか。
⑦その他施設固有の性質等による項目	学校の支援	小・中学校の移動教室等の教育活動に対する支援が、適切なものとなっているか。

5 審査結果

(1) 得点

	審査項目	配点	指定管理者候補者
書類審査	①団体の実績・安定性	120点	100点
	②区の求める管理水準の確保	120点	104点
	③サービス向上への取組み	150点	121点
	④運営効率化への取組み	60点	44点
	⑤危機管理・安全確保の取組み	60点	50点
	⑥職員育成の取組み	30点	25点
	⑦その他施設固有の性質等による項目	60点	56点
合計		600点	500点
得点率%【合格基準70%以上】			83.3%

(2) 指定管理者候補者の主な提案内容

- ① 小、中学校等の事業については、食事や衛生管理に最大限注意を払い、学校の行程に基づく活動を適切に援助する。

- ② 設備の保守管理を適切に行い、コスト意識を高め、最適な予防保全、経費節減、適正な人員配置に基づく効率的な管理に努める。
- ③ 危機管理については、危機管理マニュアルや緊急時対応マニュアルに沿って、利用者の安心、安全の確保に努め、また従業員の健康管理や衛生管理を徹底し、新型コロナウイルス感染予防もふまえた対応を実施する。

(3) 非公募選定審査会における主な意見

- ① 団体の財務状況については、社員食堂等の受託経営を事業の柱としており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を強く受けているが、助成金の活用やアルバイトの活用による人件費の抑制等により経営の改善を図っている。選定において、安定して事業を継続できるかが重視され、安全性に関しては、短期的な支払能力や自己資本比率等にも問題はない。
- ② 施設の保守管理、衛生管理については、利用者の安心、安全の確保に配慮して取組み、接客サービスを適切に実施し、学校などが安心して教育活動を行うことができる対応が取られている。
- ③ 施設全般の運営については、快適に利用できるように維持管理に努め、一般区民向けにもきめ細かいサービス等を実施している。さらに地元諏訪市との交流や学園までの送迎に工夫をすれば、利用者増に寄与できると思われる。